

# フラットキャップ<sup>®</sup> PAT.

## とびださないロックボルトの頭部定着部材

鉄筋挿入工の表面材において、施工期間の短縮がはかれるプレキャスト受圧板の利用が増えてきています。それらは素材と構造に工夫をこらし、強度や耐久性を確保しながらも製品は薄く、景観に配慮したものとなっています。

その特性を生かすためには、鉄筋挿入工の頭部も薄く抑えるべきだと考えます。フラットキャップとの組み合わせで、受圧板の景観性は、さらに向上します。

各社製の様々な受圧板とともに、フラットキャップが活用されています。

(写真は「かんじきくん」との組み合わせ)

切土補強土が施工された法面は、緑化による修景をはかることが少なくありません。法面勾配を考慮すると、その多くが植生基材吹付で施工されています。

従来の突出した頭部キャップでは、緑化が進み植物が繁茂するまで、法面には頭部部材が目立っていました。しかし、鉄筋挿入工の頭部にフラットキャップを使用すると、吹付後の法面に頭部部材が残りません。これによって、草丈が低い植物を用いた緑化でも、異物が見えることなく修景することができます。

また、地表面に障害物が無くなることで、草刈りなどのメンテナンスが容易になります。

落石防止網工の中にある鉄筋挿入工の頭部は、常に落石による損傷の危険にさらされています。そのような場所に使用する部材は、それに見合う強度、耐久性を有するべきではないでしょうか。

フラットキャップは、落石など外部からの衝撃に対して、きわめて強固な形状となっています。頭部部材そのものの破壊が無いばかりか、芯材のロックボルトも、端部が地表に露出しないため衝突の危険にさらされることがありません。

ポケット式ロックネットを設置する斜面では、鉄筋挿入工の破損を検討してみてください。



# フラットキャップ PAT.

とびださないロックボルトの頭部定着部材

**フラットキャップ**を使用すると、ロックボルトの頭部がとびだしません！

- 補強後の斜面に、スッキリした景観を提供します。
- 斜面上部からの落石や、車両などの接触による破損を防ぎます。
- 道路に面した斜面に使用しても、歩行者や車両との接触が無いので安全です。
- 落葉、流木、ゴミなどがひっかかりません。
- 草刈機の歯があたらないので、斜面の保守作業の際に障害になりません。



これまでのロックボルト



フラットキャップを使用

**フラットキャップ**の使い方は、とても簡単！

- 従来の補強材がそのまま使えます。
- 補強土工の設計計算は変わりません。
- 地表に突出していた定着長10cmを無くすだけ。
- 頭部処理の部品点数が少なく、経済的です。
- 亜鉛めっきで、防食性能も大丈夫。(HDZ-55)
- 斜面と補強材は、直角±15°の範囲で調整可能。
- 施工者に制限が無く、誰でも使えます。
- 公共工事等における新技術活用システムに登録。  
NETIS登録：KK-110059-A



「いさほうネット」に詳しい情報を掲載中。**フラットキャップ**で検索してください。  
<http://isabou.net/sponsor/saitai-shin-gi-kyutu/flat.asp>

製造



災対新技術研究会

〒640-0405 和歌山県紀の川市貴志川町岸宮433  
 電話 0736-64-8099 FAX 0736-64-8889  
 Eメール saitai@ia6.itkeeper.ne.jp

販売

**株式会社 ケイエフ**

〒590-0021 大阪府堺市堺区北三国ヶ丘町8丁7-7  
 TEL 072 (232) 6060 FAX 072 (232) 6008  
 E-mail info@norimen.com  
 URL <http://www.norimen.com/>

# フラットキャップ 施工事例

地表面に突起物をつくらず  
鉄筋挿入工（ロックボルト工）を施工しました



和歌山県 県道129号線

## キャップがとびださないから

- ▶ 補強後斜面の景観がスッキリ
- ▶ 歩行者や車両の接触事故防止
- ▶ 除雪や草刈りをじゃましない
- ▶ 落石などで壊れない

## 防錆オイルを使わないから

- ▶ 水ぎわや水中でも安心

## 部品がシンプルなので

- ▶ コストダウン
- ▶ 取付けが簡単

## 各種メーカー芯材に適應します



仙台市 震災復旧工事



和歌山県 国道480号線



愛知県 国道153号線



奈良県 国道168号線

